



2024年2月20日

各位

会社名 荏原実業株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員兼COO 吉田 俊範
(コード番号：6328 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員総合企画室長 大野 周司
(TEL 03-5565-2885)

価値創造ストーリーの公開に関するお知らせ

当社グループは、当社グループが展開する事業の持続可能性、および社会との関わりについて説明したドキュメント、「価値創造ストーリー」を作成いたしましたので、お知らせいたします。

本ドキュメントは、当社グループの過去・現在・未来について、事業が立脚する「6つの資本」や、事業の具体的な中身とその戦略、社会にもたらす影響等の観点で整理し、当社グループの価値創造プロセスが持続的に循環・成長することを示す構成となっています。当社グループの事業とその持続可能性について、ステークホルダー各位によりよくご理解いただくことを目的として作成いたしました。

詳細につきましては、別紙をご覧ください。

当社グループは「人々の健康」「快適かつ安心安全な暮らし」「自然との共存」を実現する「トータル環境ソリューションカンパニー」となるべく、引き続き事業に取り組んでまいります。

以上



荏原実業グループの 価値創造ストーリー

2024年2月20日

荏原実業株式会社



経営理念とステークホルダー

荏原実業グループは、ステークホルダーとの関係構築を通して、経営理念の体現を追求しています。

経営理念

豊かな人間環境の創造を目指して社会に貢献する

ステークホルダーとのかかわり

お客様

- ・水と空気、脱炭素等の環境に関する幅広いニーズへの対応

従業員

- ・生活基盤と働きがい、成長機会の提供

地球環境

- ・持続可能な地球環境の実現

株主・投資家

- ・コミュニケーションの実施
- ・適切な株主還元

取引先

- ・信頼に応えるソリューションを共に実現し、共に成長する

地域社会

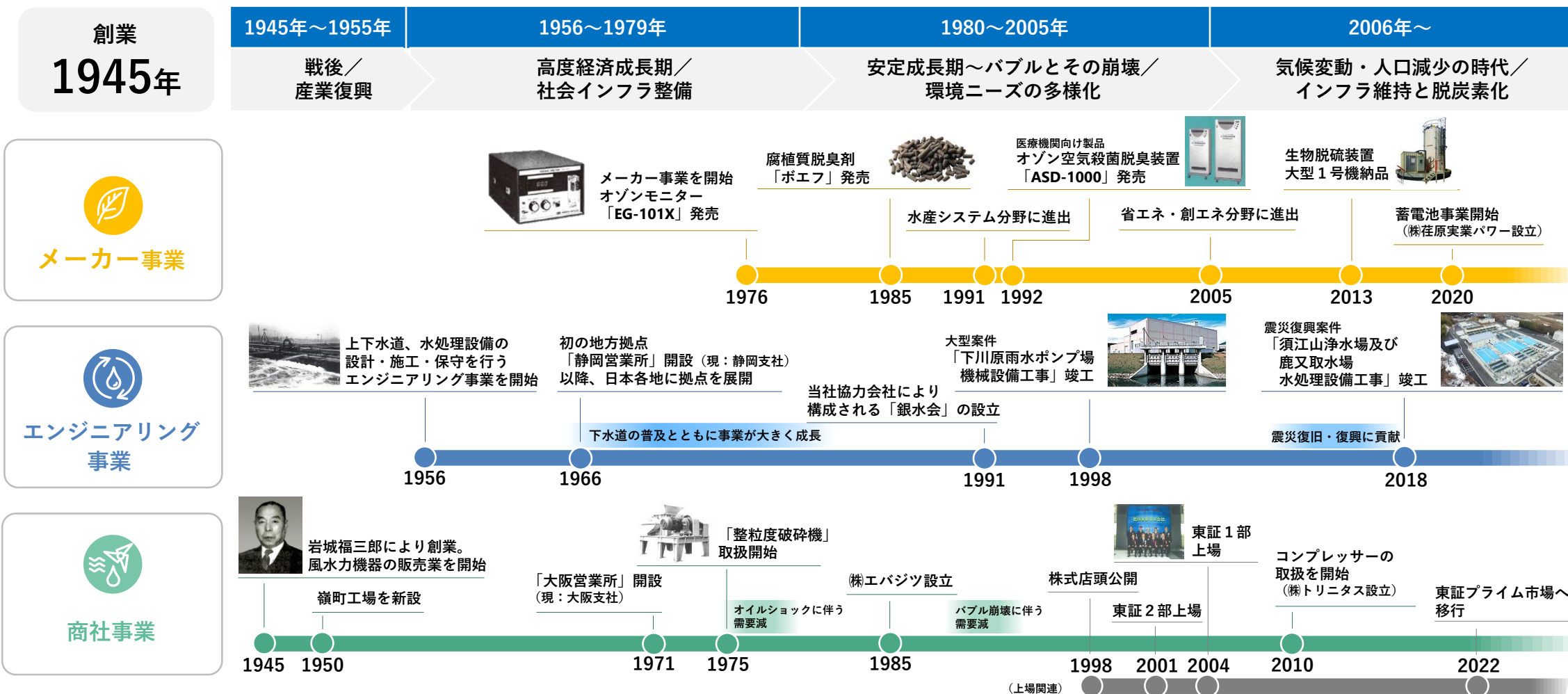
- ・地域の活性化に向けた社会との連携

SDGsへの貢献



荏原実業グループの成長の軌跡

荏原実業グループは戦後復興期に風水力機器の販売代理業を開始。以来、日本の経済発展と水インフラ（上下水道）の社会への普及とともに成長してきました。



荏原実業グループの現在

荏原実業グループは、「水」と「空気」の領域で特色ある3つの事業を展開しています。



メーカー事業

研究開発型の
ファブレスメーカー

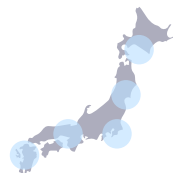
- 計測
- 脱臭
- 医療
- 省エネ・創エネ
- 水処理プラント

売上高 **76億 54**百万円
売上総利益 **32億 60**百万円



エンジニアリング事業

公共水インフラ設備工事の
元請事業者



首都圏を中心に、全国に
拠点を展開

売上高 **176億 71**百万円
売上総利益 **52億 1**百万円



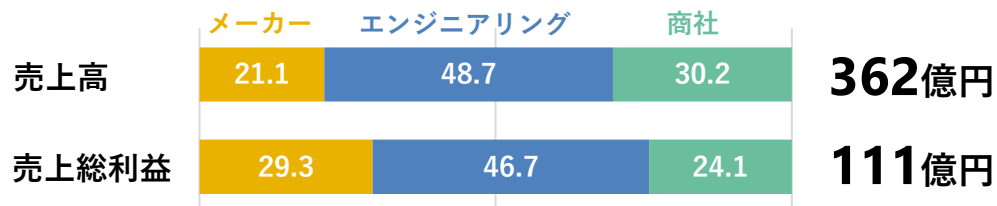
商社事業

荏原製作所グループ製品の
代理店業務を主体とする商社

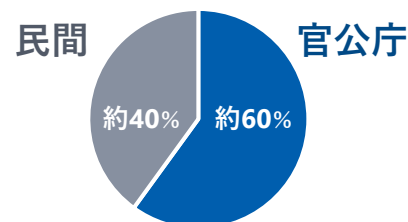


売上高 **109億 54**百万円
売上総利益 **26億 80**百万円

セグメント別構成比 (%)



売上高官民比



従業員数

531 名





各種施工管理技士
(電気、管工事、土木、建築、造園/のべ) **356** 名※
技術士 **13** 名※

※2022年度

荏原実業グループの現在

荏原実業グループは、「水」と「空気」の領域で特色ある3つの事業を展開しています。

| | 計測 | 省エネ・創エネ | 脱臭 | 水処理プラント | 医療 |
|---|--|--|--|--|---|
|  <p>メーカー事業 (環境関連)</p> | 高精度 オゾンモニタ  | 住宅用 蓄電池  | 腐植質 脱臭剤  | 高効率 砂ろ過器  | 簡易陰圧 装置  |
| | 半導体向け オゾンモニタ  | 省エネ プロワ  | 生物 脱硫装置  | 陸上養殖 システム  | オゾン室内 消毒装置  |

|  <p>エンジニアリング 事業 (水処理関連)</p> | 上水道施設 | 下水道施設 | 雨水排水機場施設 | マンホールポンプ施設 | クラウド型監視システム E-Qias Cloud |
|---|-------|--|---|--|--|
| | |  |  |  |  |

|  <p>商社事業 (風水力関連)</p> | ポンプ | 給水ポンプユニット | 消化ポンプ | ファン | 破砕機 | 建築設備・プラント施設 鋼製架台 |
|--|-----|---|--|---|---|---|
| | |  |  |  |  |  |

荏原実業グループの経営資本

荏原実業グループは、以下の6つの資本に立脚し事業を行っています。

[人的資本]

当社グループには、日本全国に500名以上の従業員が在籍しています。施工管理を行う上で必要な公的資格を有する者の割合が高いこと、研究開発に従事する人員が多いことが特徴です。人材は、事業を持続・成長させるうえで非常に重要な資本であり、当社グループは採用・育成に注力しています。

- ・従業員数
2023年度末 **531** 名
- ・各種施工管理技士
(のべ)
2022年度末 **356** 名

[製造資本]

当社グループのメーカー事業は、社会に求められる環境ソリューションを機動的に提供していく必要から、研究開発に重きを置いたファブレス方式を行っています。生産設備を保有する事業者と協力関係を構築し、製造行程を外部委託することで、経営資本を効率的に運用しています。

- ・ファブレス方式
(メーカー事業)
- ・設計、品質管理、メンテナンスおよび研究開発に注力

[社会関係資本]

当社グループは、幅広い製品・サービスを提供し、顧客およびサプライヤー・協力会社との信頼関係を長年にわたり構築してきました。特に民間需要、官公庁需要の双方においてサプライチェーンを構築してきた点に当社グループのレジリエントな経営基盤があります。

- ・売上高官民比
官：民 = **6：4**
- ・協力会社組織「銀水会」
- ・荏原製作所グループの代理店業

[自然資本]

当社グループは、「水」「空気」など、社会全体が共有する自然資本の再生産に資する事業を行っています。提供するソリューションおよび当社自身の事業活動における環境負荷低減を通じて、社会の持続可能性に貢献しています。

- ・GHG排出量 (Scope 1+2)
1,252 t-CO₂/年
(2022年度実績)
- ・100%再エネ切替率
2023年度末まで
電力需要全体の **9** %

[知的資本]

ポンプの取り扱いを祖業とする当社グループは、「水」と「空気」の領域に事業を拡大し、それぞれの分野で事業ノウハウや技術的知見を形成してきました。社会のおかれる状況が変化するなかで、新たな環境課題に対しソリューションを提供し続けるため、研究開発投資を積極的に行っています。

- ・研究開発投資
2023年度 **7.3** 億円
- ・中央研究所をはじめとする研究開発インフラ

[財務資本]

当社は官民双方の市場において事業を展開していることから、経済環境の変化に比較的強い収益構造を有しています。「財務基盤の安定」「成長に向けた事業投資」「株主への還元」の適切なバランスを重視した資源配分を行い、当社グループの価値創造を持続可能なものにしていきます。

- ・売上高営業利益率
2023年度 **11.1** %
- ・ROE
2023年度 **15.9** %

荏原実業グループの強み

長年にわたり水と空気をテーマとしたインフラづくりに取り組んできた荏原実業グループは「水インフラ市場における豊富な実績」「水と空気に関する技術・知見」「品質を支える現場力」を強みとし、事業領域を広げています。

水と空気に関する技術・知見

専門性

研究開発体制

顧客への提案力

当社グループは、創業以来お客様のニーズに対応しながら、水と空気分野で専門性を高めてきました。研究開発によって生まれた新しい技術と様々な課題解決の中で得られた知見を基盤に、ヒアリングや分析を通してお客様の現状を把握し、最適な製品やサービスの提供に繋がっています。

水インフラ市場における豊富な実績

地域密着の営業体制

協力会社とのパートナーシップ

顧客との長年の信頼関係

全国17都道府県に26拠点を展開し、地域密着の体制で各地の水インフラ整備に貢献してきました。日々の生活を支える水を扱う中で安全・安心な施工を提供するため、協力会社と緊密なパートナーシップを構築しています。お客様からいただいた長年の信頼の積み重ねが、当社グループの豊富な実績となっています。

品質を支える現場力

営業/設計/施工のチーム力

公的技術資格取得者

専門家としての誠実性

安定した高い品質を実現できるよう営業・設計・施工がチームとして連携しながらプロジェクトを進めています。全てのメンバーが専門家としての誠実な行動を行うとともに、高い技術力を持った公的資格者が現場を機動的かつ柔軟にプロジェクトマネジメントしています。また、品質保証活動により管理・改善を続けています。

荏原実業グループのビジネスモデル：事業セグメント

水と空気に関する専門性と豊富な実績を活かして
3つの事業セグメントで顧客ニーズに幅広く対応しています。



荏原実業グループのマテリアリティ（重要課題）

企業としての持続可能な成長と、社会全体が抱える課題の解決を同時に目指していきます。

イノベーションを通じた 持続可能な地球環境の実現



脱炭素

自然共生

水・資源循環

自事業の
環境負荷低減

脱炭素社会への移行、生物多様性の保全など、環境課題への対応はすべての経済主体にとって重要なファクターとなっています。環境分野で長年事業を展開してきた荏原実業グループはその知見をもとに、さまざまなイノベーションを生み出すことで、地球環境の維持・改善を“ビジネス”を通じて推進していきます。

未来に向けた 水と空気のインフラづくり



水インフラ

レジリエンス

クリーンエア

“水”と“空気”を扱う荏原実業グループの事業は、特に上下水道や防災・医療など、“社会インフラ”の維持において重要な役割を果たしてきました。人口減少や気候変動により既に変化を始めているこの日本社会において、その役割への期待は大きく高まっています。荏原実業グループは社会の変化に対応し、未来を見据えたインフラづくりに貢献していきます。

信頼に応える ソリューションの提供



品質

安全

サプライチェーン

荏原実業グループがお客様に提供するソリューションは、従業員や取引先その他のステークホルダーの協力によって成り立っています。品質はもとより、働く方の安全や取引の公正さ、調達経路の安定性は、事業の継続にとって特に重要です。荏原実業グループは、お客様をはじめとするステークホルダーとの間に信頼を積み重ね、持続可能なソリューションを追求していきます。

変化を成長に変える 組織づくり



人づくり

働きやすさ

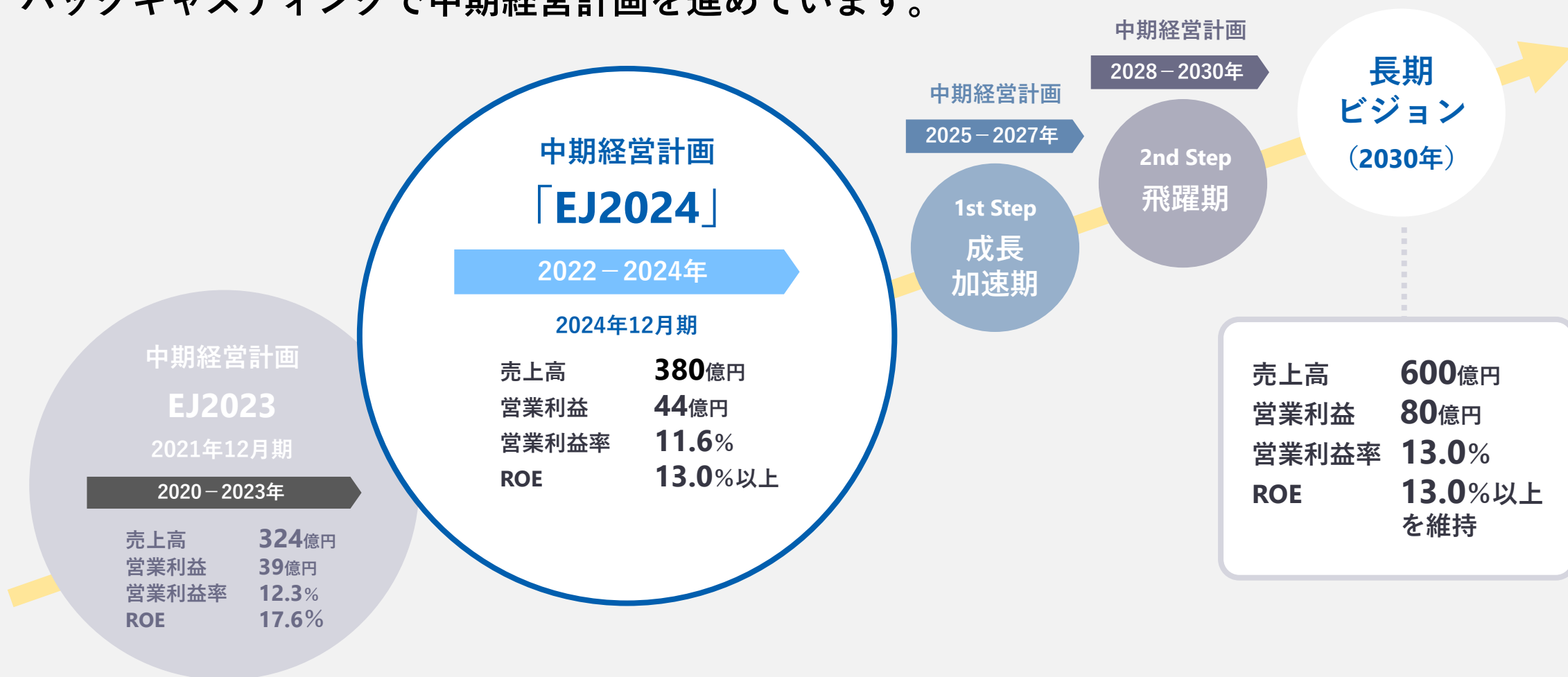
企業文化

ガバナンス

変化の激しい近年の社会状況において継続的に事業を発展させていくためには、変化に適応し、ビジネスモデルの変革を実現できる組織となることが重要です。従業員の能力・技術の向上支援やダイバーシティの確保、企業文化の醸成、ガバナンス体制の充実等の施策を通じて、変化によって成長する、イノベーティブな企業への“進化”を志向していきます。

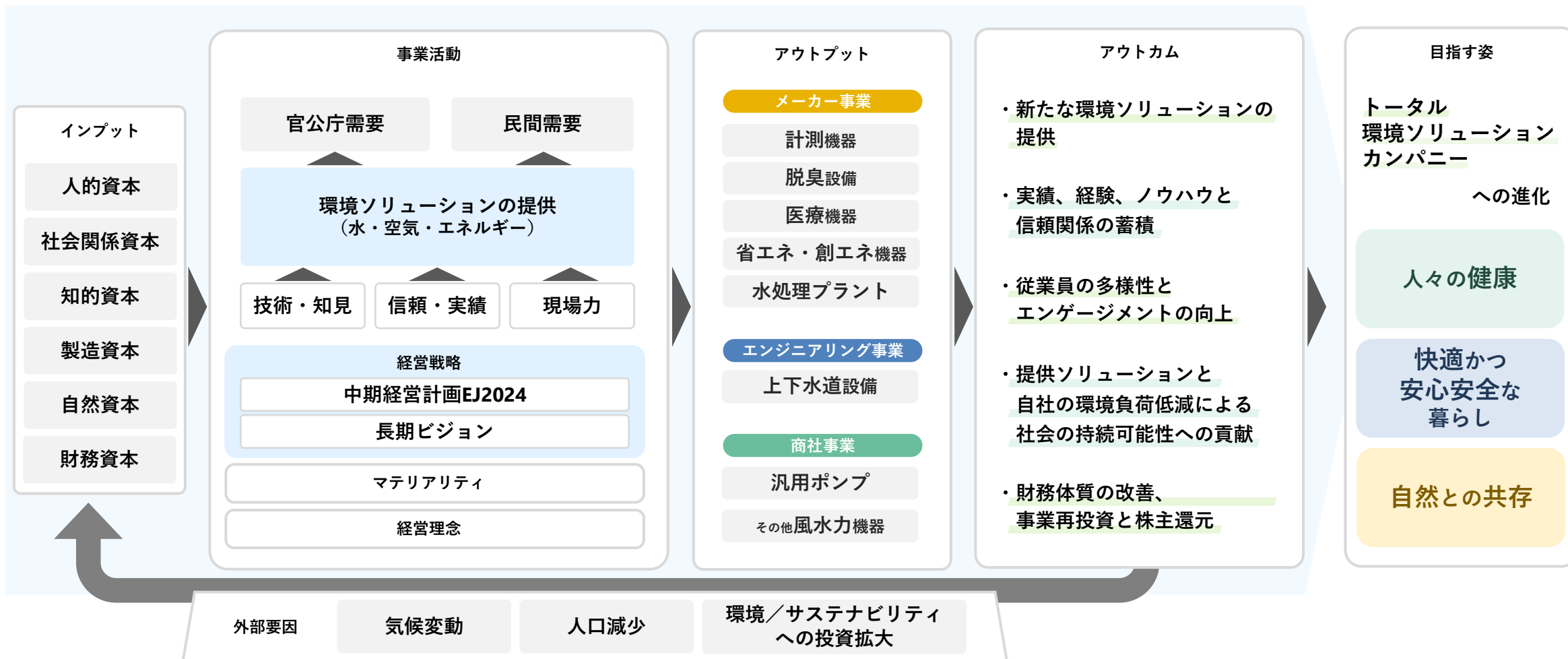
長期ビジョンと中期経営計画「EJ2024」

長期ビジョンを見据え
バックキャストिंगで中期経営計画を進めています。



荏原実業グループの価値創造プロセス

当社グループは事業活動の価値創造プロセスを通じて、人々の健康や、快適かつ安心安全な暮らし、自然との共存を実現する「トータル環境ソリューションカンパニー」を目指します。





本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。